

## 4. 総会等報告

### (1) 2012 年度地域安全学会総会 報告

1. 日 時 : 2012 年 6 月 15 日 (金) 16:30~17:30
2. 場 所 : 輪島市文化会館
3. 議 題

#### 議長選出

- 1) 2010 年度事業報告・・・・・・報告
- 2) 2010 年度決算・・・・・・審議
- 3) 2011 年度役員の改選結果・・審議
- 4) 2011 年度事業計画・・・・・・審議
- 5) 2011 年度予算・・・・・・審議
- 6) 一般社団法人化について

### 4. 論文賞・論文奨励賞授与

出席者:

会員数 605 名 内 正会員 548 名 (正会員の 1/10 以上で成立)  
出席 27 名, 委任状 303 名, 合計 330 名

### 1. 2011 年度事業報告

#### (1) 理事会の開催

2011 年度は理事会を下記のとおり開催した。

- 第 1 回 臨時理事会 2011 年 5 月 27 日 (島原市)
- 第 2 回 2010 年 7 月 23 日 (東京), 第 3 回 2010 年 9 月 10 日 (東京)
- 第 4 回 2010 年 11 月 11 日 (静岡), 第 5 回 2011 年 1 月 28 日 (東京)
- 第 6 回 2011 年 3 月 24 日 (東京)

#### (2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時: 2011 年 5 月 27 日 (金) ~28 日 (土)

場所: 長崎県島原市

一般論文発表: 31 件

日韓台国際交流シンポジウム: 東日本大震災を巡って

公開シンポジウム: 「雲仙普賢岳の火山災害に学ぶ」

現地見学会: 雲仙普賢岳噴火災害被災状況ならびにその後の復旧・復興状況等

#### (3) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時：2011年11月11日（金）～12日（土）

場所：静岡県地震防災センター

査読論文発表：33件，一般論文ポスター発表：41件

(4) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- ・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.28」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.15」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.29」を刊行した。
- ・地域安全学会論文集No.16（2011年度電子ジャーナル）をホームページ上に公開し15編の電子ジャーナル論文の閲覧を開始した。
- ・本年度より論文投稿の機会を更に強化することを目的として，電子ジャーナル査読論文の発行を年2回とすることに決定した。

(5) 地域安全学会論文賞・論文奨励賞の選出

- ・地域安全学会論文集No.14(2011.11)および地域安全学会論文集No.15(2012.3)に掲載された合計37の論文を対象として，平成23年度地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果，本年度は「該当なし」となった。
- ・地域安全学会論文集No.14(2011.11)に掲載された論文のうち，地域安全学会論文奨励賞の対象となる39編の査読論文に対し審査が行われた。その結果，1編の論文の筆頭著者が選出された。

(6) ニュースレター発行とホームページ管理

2011年度はニュースレターNo.75～No.78の計4号を発行し，学会ホームページ上に掲載した。今後，学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ，引き続き内容の充実を図っていくこととした。

(7) 会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して，メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ，今後，効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

(8) 地域安全学会技術賞の選考

第5回目を迎えた2011年度地域安全学会技術賞は，応募がなかったため「該当者なし」という結果となった。

(9) 企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施した。

(10) 東日本大震災関連活動

1) 東日本大震災特別委員会の設置

2010年度第6回理事会において「東北地方太平洋沖地震災害(東日本大震災)特別委員会」を設置することが決定され，活動を開始した。

2) 仙台市宮城野区における建物被害認定調査支援活動

地域安全学会では，東日本大震災に際し，被災自治体の災害対応の支援活動を行った。

支援は仙台市宮城野区役所の地震被害に対する建物被害認定調査業務について、5月2日より5月8日までの1週間活動した。

3) 東日本大震災被災地国際共同視察ツアー開催

6月19日から25日にかけて、地域安全学会の主催による東日本大震災被災地国際共同視察ツアーを実施した。ツアーには地域安全学会員30名、米国EERI会員11名、韓国防災学会会員6名、台湾災害危機管理学会員8名が参加した。最終日の6月25日には東京で、視察から得られた知見の総括と今後の研究の方向性を定める全体ワークショップを行った。

(11) 台湾危機管理学会，韓国防災学会との研究交流

- ・2011年5月27日，台湾危機管理学会と地域安全学会の間に研究交流協定を締結した。
- ・2011年11月17日～18日にかけて，台湾の台北市において，2011 Conference for Disaster Management in Taiwan が開催され，地域安全学会から重川会長・立木副会長が参加し，講演ならびに国際シンポジウムに参加した。

(12) 防災学協会連合組織への参加

防災学協会連合組織に参加し，多角的，多面的な防災対策を実現するため学協会横断の学際的な取り組みを進めた。

(13) シンポジウム等の共催・参加

2011年7月開催の安全工学シンポジウムを共催した。

(14) 役員選挙の実施

2012年度新役員の実選を実施し，理事13名，監事1名を選出した。

(15) 公益法人化に向けた検討

地域安全学会の将来構想を踏まえて，法人化に向けた検討を実施した結果，一般社団法人申請を行うことが理事会で承認され，2012年度総会において審議することが決定した。

(16) 会員数および年会費納入（2012年3月末）

	会員数	会費納入状況		
		過年度	本年度	次年度
賛助会員	0	0	0	0
正会員	548	41	430	0
学生会員	57	8	31	0

補足：会費の納入について

- ・2012度の会費振込み用紙は5月に発送済み。
- ・2月末時点で2年連続の未納者は理事会での決定により退会となる。
- ・正会員でない宛職理事および顧問は，特別会員として会費を請求しない。

## 2. 2011年度決算

決算に関して、井野監事および翠川監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいている。

### 地域安全学会 2011 年度決算報告

2011年度地域安全学会決算				
(単位:円)				
収入の部				
科目	予算	決算	比較	備考
(1)一般事業				
会費収入	2,580,000	2,423,000	157,000	正会員5000円×471名=2,345,000円、学生会員2000円×39名=78,000円、過年度入金=264,000円(正会員5000円×41(人年)=205,000円、学生会員2000円×8(人年)=16,000円)
販売収入	30,000	72,000	▲ 42,000	梗概集7、論文集6、DVD頒布
小計	2,610,000	2,495,000	115,000	
(2)総会及び春の研究発表会				
梗概集登録料	320,000	200,000	120,000	梗概集登録料(ページ数対応5000円/2ページ)
梗概集頒布	120,000	68,000	52,000	一冊4000円×17冊
懇親会費	260,000	190,000	70,000	6000円×28名=168,000円、2000円×11名=22,000円
小計	700,000	458,000	242,000	
(3)秋の研究発表会				
梗概集登録料	350,000	330,000	20,000	梗概集登録料(ページ数対応5000円/2ページ)
梗概集頒布	200,000	196,000	4,000	一冊4000円×49冊
懇親会費	340,000	280,000	60,000	6000円×44名=264000円、2000円×8名=16,000円
小計	890,000	806,000	84,000	
(4)論文集の刊行				
論文査読料	800,000	850,000	▲ 50,000	85名分
論文登録料	1,500,000	1,210,000	290,000	梗概集登録料(2万円+5000円/2ページ)
論文集頒布	200,000	172,000	28,000	一冊4000円×43冊
小計	2,500,000	2,232,000	268,000	
(5)その他				
前期繰越金	4,347,792	4,347,792	0	
雑収入	900	579	321	
小計	4,348,692	4,348,371	321	
合計	11,048,692	10,339,371	709,321	

支出の部				(単位:円)
科目	予算	決算	比較	備考
(1)総務・広報				
1)選挙管理委員会	100,800	0	100,800	郵送による選挙管理を行っていないため
2)理事会	600,000	403,305	196,695	会場費、理事交通費
3)総会	150,000	142,632	7,368	総会出欠葉書610通、等
4)広報委員会				
ニュースレター-発送費	60,000	0	60,000	ニュースレター印刷、発送がweb化したため。
サーバー・HP運営費	300,000	315,000	▲ 15,000	ホームページ改善費用
5)事務局(経理、会員管理等)				
事務局委託費	600,000	600,000	0	財団法人 都市防災研究所
管理用データベース運用費	100,000	100,000	0	財団法人 都市防災研究所
送料・振込手数料	150,000	168,014	▲ 18,014	切手、インターネットID料金、宅急便
事務消耗品費	100,000	0	100,000	今季なし
諸経費	400,000	48,954	351,046	雑費
小計	2,560,800	1,777,905	782,895	
(2)学術・国際				
1)学術委員会				
会場費	120,000	98,180	21,820	会場費等
学術委員旅費	200,000	521,210	▲ 321,210	委員交通費
電子投稿システム運営費	450,000	420,000	30,000	投稿サーバー保守等委託費
電子ジャーナル論文運用費	300,000	1,113,000	▲ 813,000	システム運営・改修等委託費(当初1回編集の見積もりが3回編集となる)
論文集印刷費(CD含む、300部)	1,400,000	1,164,660	235,340	23年度論文集印刷
通信費	42,000	19,480	22,520	切手代
業務支援作業報酬	100,000	45,000	55,000	3人分
2)表彰委員会				
メダル作成費他	40,000	47,764	▲ 7,764	
3)国際交流委員会				
運営費	100,000	0	100,000	自己負担のレベルで活動が収束
小計	2,752,000	3,429,294	▲ 677,294	
(3)研究発表会				
1)総会・春季研究発表会				
梗概集印刷費	250,000	224,553	25,447	梗概集当日配布
事前打合せ旅費	50,000	45,960	4,040	
運営費	300,000	467,416	▲ 167,416	現地雑費等(僻地開催により交通費等増大)
懇親会費	350,000	255,700	94,300	当日懇親会費
2)秋季研究発表会				
梗概集作成費	300,000	312,931	▲ 12,931	梗概集当日配布
会場設営費(パネル設営等)	300,000	247,590	52,410	ポスター発表用パネル設営
運営費	300,000	214,604	85,396	アルバイト料
懇親会費	400,000	346,038	53,962	当日懇親会費
3)安全工学シンポジウム				
会議旅費	30,000	0	30,000	
共催金	20,000	20,000	0	
小計	2,300,000	2,134,792	165,208	
(4)研究運営				
1)企画研究				
運営費	900,000	0	900,000	自己負担のレベルで活動が収束
小計	900,000	0	900,000	
(5)その他				
予備費	0	179,470	▲ 179,470	東日本大震災被災地視察、平成24年6月実施
小計	2,535,892	2,817,910	▲ 282,018	
合計	11,048,692	10,339,371	709,321	
2012年5月31日				地域安全学会
				監事 井野 盛夫 印
				監事 翠川 三郎 印
				上記の通り収支決算を報告いたします。

### 3. 2012 年度役員の変更結果

#### (1) 改選対象役員

##### 1) 理事

糸井川 栄一	筑波大学 大学院システム情報系
大西 一嘉	神戸大学 大学院工学研究科
岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究院
柄谷 友香	名城大学都市情報学部
佐土原 聡	横浜国立大学大学院 環境情報研究院
高梨 成子	(株)防災&情報研究所
田中 聡	富士常葉大学大学院環境防災研究科
中林 一樹	首都大学東京大学院都市科学研究科
牧 紀男	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター
松岡 昌志	産業技術総合研究所
宮野 道雄	大阪市立大学大学運営本部
村上 ひとみ	山口大学大学院理工学研究科
森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科

##### 2) 監事

井野 盛夫	富士常葉大学
-------	--------

以上 14 名

#### (2) 選出役員

規定により以下の理事、監事を無競争で選出した。

##### 1) 理事

市古 太郎 <sup>#</sup>	首都大学東京大学院都市環境科学研究科
糸井川 栄一	筑波大学大学院システム情報系
大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科
大原 美保 <sup>#</sup>	東京大学生産技術研究所
岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究院
柄谷 友香	名城大学都市情報学部
佐土原 聡	横浜国立大学大学院 環境情報研究院
田中 聡	富士常葉大学 大学院環境防災研究科
牧 紀男	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター
松岡 昌志	産業技術総合研究所
宮野 道雄	大阪市立大学大学運営本部
村上 ひとみ	山口大学大学院理工学研究科
森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科

##### 2) 監事

井野 盛夫	富士常葉大学
-------	--------

以上 14 名

(<sup>#</sup>2012 年度新規選出)

#### 4. 2012年度事業計画

##### (1) 理事会の開催

2012年度は理事会を下記のとおり開催する。

- 第1回 2012年5月26日(土) 東京 (TKP銀座カンファレンスセンター)
- 第2回 2012年6月15日(金) 輪島 (輪島市文化会館)
- 第3回 2012年7月21日(土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第4回 2012年9月8日(土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第5回 2012年11月2日(金) 静岡 (静岡県地震防災センター)
- 第6回 2013年1月26日(土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第7回 2013年3月23日(土) 東京 (同志社大学東京オフィス)

##### (2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

日時：2012年6月15日(金)～16日(土)

場所：石川県輪島市文化会館

##### (3) 東日本大震災連続ワークショップ2012 in いわき の開催

下記のとおりA～Dの企画を実施する。

日時：2012年8月3日(金)～4日(土)

場所：いわきワシントンホテル椿山荘

- A. 東日本大震災特別委員会ワークショップ
- B. 3ヵ国(日本・韓国・台湾)国際交流研究会
- C. 東日本大震災シンポジウム
- D. 懇親会・被災地および復興状況見学会

##### (4) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

日時：2012年11月2日(金)～3日(土)

場所：静岡県地震防災センター

##### (5) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

春季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 30」を刊行する。

東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「東日本大震災特別論文集 No.1」を刊行する。

秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No.16、No.17、No.18」を刊行し、

論文奨励賞を選出する。

秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.31」を刊行する。地域安全学会論文集 No.19（電子ジャーナル）をホームページ上で公開する。

本年度の論文集(No.17, No.18, No.19)を対象に論文賞を選出する。

(6) 広報活動の強化と会員管理

会員サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

(7) 技術賞の選出

表彰委員会において第6回地域安全学会技術賞の選考を行う。

(8) 国際交流の推進

韓国防災学会、台湾危機管理学会等との交流を推進する。

(9) 役員選挙の実施

2013年度新役員選挙を実施し、理事12名、監事1名を選出する。

(10) 東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

(11) 学会法人化の実施

2012年度中に一般社団法人への申請手続きを開始する。

5. 2012 年度予算

地域安全学会 2012 年度予算

収入の部

(単位：円)

科 目	金額	備 考
(1) 一般事業		
会 費 収 入	2,580,000	正会員 500 名、学生会員 40 名
販 売 収 入	50,000	DVD、論文集、梗概集等頒布
小 計	2,630,000	
(2) 総会及び春の研究発表会		
梗概集登載料	250,000	10,000×25 編
梗概集頒布	120,000	4,000×30 部
懇 親 会 費	260,000	一般 6,000×40 名、学生 2,000×10 名
小 計	630,000	
(3) 東日本大震災連続ワークショップ		
梗概集登載料	400,000	10,000×40 編
梗概集頒布	200,000	4,000×50 部
懇 親 会 費	430,000	一般 8,000×50 名、学生 3,000×10 名
小 計	1,030,000	
(4) 秋の研究発表会		
梗概集登載料	350,000	10,000×35 編
梗概集頒布	200,000	4,000×50 部
懇 親 会 費	340,000	一般 6,000×50 名、学生 2,000×20 名
小 計	890,000	
(5) 論文集の刊行		
論文査読料	800,000	10,000×80 編
論文登載料	1,500,000	25,000×60 編
論文集頒布	200,000	4,000 ×50 部
小 計	2,500,000	
(6) そ の 他		
前 期 繰 越 金	2,817,910	地域安全学会
雑収入	900	受取利息
小 計	2,818,810	

合 計	10,498,810	
-----	------------	--

支出の部

(単位：円)

科目	金額	備 考
(1) 総務・広報		
1) 選挙管理委員会	100,800	投票用紙送付・返送切手 80×630×2
2) 理事会	600,000	会場費、理事交通費
3) 総会	150,000	郵送料 80×630、出欠葉書 50×630 等
4) 広報委員会		
サーバー・HP 運営費	300,000	
5) 事務局		
事務局委託費	600,000	50,000×12 ヶ月
管理用データベース運用費	100,000	
送料・振込手数料	150,000	
事務消耗品費	100,000	
諸経費	400,000	印刷費・交通費
小 計	2,500,800	
(2) 学術・国際		
1) 学術委員会		
会場費	120,000	
学術委員会旅費	300,000	
論文投稿システム運用費	450,000	システム運営・サーバー保守等委託費
電子ジャーナル論文運用費	300,000	システム運営・改修等委託費
論文集印刷費	1,400,000	300 部
通信費	30,000	切手代
業務支援作業報酬	100,000	
2) 表彰委員会		
メダル作成費他	40,000	
3) 国際交流委員会		
運営費	100,000	
小 計	2,840,000	
(3) 研究発表会		
1) 春季研究発表会		
梗概集作成費	250,000	100 部
事前打ち合わせ旅費	50,000	

運営費	300,000	講師謝礼・交通費・アルバイト費等
懇親会費	350,000	
2) 秋季研究発表会		
梗概集作成費	300,000	150部
会場設営費	300,000	ポスター発表用パネル設営等
運営費	300,000	アルバイト費、現地雑費等
懇親会費	400,000	
3) 安全工学シンポジウム		
会議旅費	30,000	
共催金	20,000	
4) 東日本大震災連続ワークショップ		
梗概集作成費	250,000	100部
運営費	300,000	
懇親会費	350,000	
小 計	3,200,000	
(4) 研究運営費		
1) 企画研究		
運営費	450,000	
小 計	450,000	
(5) その他		
予備費	1,508,010	次期繰越金
小 計	1,508,010	
合 計	10,498,810	

注) 科目間の流用、転用は理事会の承認のもとに行う場合がある。

# 地域安全学会

## 2012 年度総会議事録

日時：2012年6月15日（金）16時30分～17時30分

場所：石川県輪島市文化会館

### 議長選出

糸井川栄一理事を選出

### 議事録署名人選出

池田浩敬理事 庄司学理事 を選出

30名出席 303名委任状 合計333名 定足数624名の十分の一を確認

### 第一号議案 2011 年度事業報告

重川会長より説明 承認

### 第二号議案 2011 年度決算

守事務局長より説明 承認

### 第三号議案 2012 年度役員の改選結果

池田選挙管理委員会委員長より説明 承認

### 第四号議案 2012 年度事業計画

宮野副会長より説明 承認

### 第五号議案 2012 年予算

宮野副会長より説明 承認

### 第六号議案 一般社団法人化

重川会長より説明 承認

議事録署名人

池田 浩 敬



庄司 学

